

「理科」 授業のデザイン

授業者：古本 賢治

- 1 日 時 平成30年10月31日（水）5校時
- 2 学 級 2年 1組
- 3 題 材（単元） 風のふくしくみ
- 4 本時の授業

- (1) 目標 風のふくしくみを理解する。
- (2) 授業の取り組み

最近、授業において基本的な語句などを学習した後に、練習問題に取り組む流れを意識して授業を計画している。それは、授業の内容を授業者が話すよりも、生徒が生徒に話した方が伝わりやすいかと思ひ、練習問題の際に生徒同士が話せるようにと想つてのことである。ただ、練習問題の内容について、難易度をどうするかを悩んでおり、こちらが意図している流れになることが少ないため、試行錯誤中である。

(3) 流れ

学習内容と学習活動	指導上の留意点等
<p>①本時の課題と流れを確認する。 風はどのようなしくみでふくのだろうか、考えよう。</p> <p>②天気図について知る。 ・天気予報ではどのような情報を聞くか？ 「週間予報、雨雲レーダー、気温、花粉情報、洗濯物指数」などを耳にする。</p> <p>・気象要素 天気予報で耳にするような、天気に関するものを気象要素とすることを知る。</p> <p>・等圧線 天気図にのっている線は等圧線とすること。等圧線によって、各地の気圧がわかることを知る。 実際に、等圧線の読み方を問題を解いて理解する。</p> <p>③等圧線から、空気の山と谷を見つける。 ・気圧の高い場所を高気圧、低いところを低気圧とすることを知る。</p> <p>・等圧線をもとに、とある直線状における大気圧の断面図を作成し、空気の山と谷を見つける。</p> <p>・天気図にのっている風向の様子、風力の様子を断面図に関連させて、考えられることを記入する。</p> <p>・風がふくしくみをまとめる。</p> <p>④まとめ 低気圧と高気圧の間における空気の流れについて説明する。</p>	<p>・通常、雲画像を見せたのち、天気図を見せて、天気図には様々な情報がのっていることを示す。</p> <p>・社会で学習している等高線と考え方は同じであることを伝える。</p> <p>・コリオリの力について軽く触れる。</p>